

令和8年3月6日

保護者の皆様

松茂幼稚園長 村上 佳代子

## 令和7年度松茂幼稚園「学校（園）評価」について(報告)

本年度も残すところあとわずかとなりました。保護者の皆様には、日頃より温かいご支援とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

本園では今年度「遊び合い、学び合い、育ち合う まっしげっ子」を重点目標とし4つの柱を軸に、保育に取り組んでまいりました。この度、保護者アンケート及び教職員による自己評価の結果がまとまりましたので、以下の通りご報告いたします。皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、次年度の教育活動のさらなる向上に努めてまいります。

### 1 評価結果の概要

- ・実施期間 令和8年2月2日から2月9日
- ・調査対象 松茂幼稚園 保護者38名（回答率：81.58%）教職員9名（回答率：100%）
- ・総合評価 松茂幼稚園 【B】（ほぼ達成できている）

保護者アンケートにおいてはすべての項目において90%を超える肯定的評価を頂き、日頃の教育活動への温かいご理解に心より感謝いたします。一つ一つの評価を次年度の保育実践に生かし幼稚園教育の更なる充実に努めてまいります。

評価結果の表示について

- A：十分達成できている（積極的評価 90%以上） B：ほぼ達成できている（肯定的評価 75%以上）  
 C：あまり達成できていない（肯定的評価 50%以上） D：達成できていない（肯定的評価 50%未満）
- ・肯定的評価・・・回答のうち「そう思う（A）」と「少し思う（B）」を合わせた割合
  - ・積極的評価・・・回答のうち、最も高い評価である「そう思う（A）」を指します。

### 2 各項目の振り返りと考察

#### ○遊び込める幼児の育成～好奇心や探求心を育む環境構成と教師の援助～ 評価 【B】

	問	質問内容	回答者	肯定的評価 (A・B)	否定的評価 (C・D)	A	B	C	D
						そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない
好奇心や探求心の育み	1	子どもは幼稚園に行くのを楽しみにしている	保護者	90.3%	9.7%	74.2%	16.1%	6.5%	3.2%
			教職員	100.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
	2	子どもは園の遊びや生活を通して好奇心や探求心が育ってきている	保護者	100.0%	0.0%	87.1%	12.9%	0.0%	0.0%
			教職員	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3	先生は興味や関心をとらえ好奇心や探求心(やる気)を育む援助を行っている	保護者	100.0%	0.0%	83.9%	16.1%	0.0%	0.0%
			教職員	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4	行事や活動など特色のある園づくりができています	保護者	93.5%	6.5%	87.1%	6.5%	6.5%	0.0%
			教職員	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

肯定的な評価が多く得られ、子どもの成長が着実に感じられます。「好奇心や探求心の育ち」「好奇心や探求心を育む教師の援助」「特色ある園づくり」において保護者の積極的評価(A)が80%に達しており、子ども達の「やってみたい」「面白そう」を捉えた、好奇心や探求心を育む園づくり(環境づくり)が順調に進んでいることがうかがえます。

一方で登園を楽しみにしているという項目については一部で課題も残ります。一人一人の幼児が「幼稚園に自分の居場所がある」と心から安心できる基盤をつくり、周りの環境に主体的に関わっていけるよう、更に一人一人の気持ちを丁寧に見取り、必要な援助をしっかりと行っていきます。

○人権教育の推進～自己有用感を育む保育実践～ 評価 【B】

問	質問内容	回答者	肯定的評価 (A・B)	否定的評価 (C・D)	A	B	C	D	
					そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない	
人権教育	5	子どもは自分のよさを感じ、自信をもって活動している	保護者	100.0%	0.0%	83.9%	16.1%	0.0%	0.0%
			教職員	88.9%	11.1%	88.9%	0.0%	11.1%	0.0%
	6	子どもは友達を思いやったり、大切にしたりする気持ちが育っている	保護者	100.0%	0.0%	67.7%	32.3%	0.0%	0.0%
			教職員	88.9%	11.1%	88.9%	0.0%	11.1%	0.0%
	7	幼稚園は人の心や自然、命を大切にす教育に取り組んでいる	保護者	96.8%	3.2%	83.9%	12.9%	3.2%	0.0%
			教職員	100.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
	8	幼稚園は当番活動などを通して自分は必要とされているという気持ちを育んでいる	保護者	100.0%	0.0%	83.9%	16.1%	0.0%	0.0%
			教職員	100.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
	9	先生は、子どもを温かく受け止め、一人一人を大切にしている	保護者	100.0%	0.0%	83.9%	16.1%	0.0%	0.0%
			教職員	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「自分が必要とされていると感じる心（自己有用感）」や「教師の温かい受容」については保護者・教職員ともに100%の肯定的評価となり、子どもたちの安心感や自信、自己有用感がしっかりと育まれていることがうかがえます。一方「友達を思いやったり、大切にす気持ち」については、集団生活の中で様々な葛藤を経験しながら育つ成長段階にあります。表面的な調和を求めるのではなく、相手の対場に立った本質的な「思いやり」を育んでいけるよう、異年齢での関わりや共同で取り組む活動などの機会を積極的に取り入れ、自分の気持ちが受け入れらる経験や、相手の気持ちに気付いていけるような援助を更に重ねていきたいと思ひます。

○健康・安全教育の推進～自ら健康で安全な生活をつくりだす力の育み～ 評価 【B】

問	質問内容	回答者	肯定的評価 (A・B)	否定的評価 (C・D)	A	B	C	D	
					そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない	
健康・安全教育の推進	10	子どもは、基本的な生活習慣が身につけてきている	保護者	96.8%	3.2%	71.0%	25.8%	0.0%	3.2%
			教職員	100.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
	11	子どもは、安全に対する意識(交通ルールや不審者対応、遊具の使い方等)が育ってきた	保護者	96.8%	3.2%	71.0%	25.8%	0.0%	3.2%
			教職員	100.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
	12	幼稚園の施設・設備等は安全面に配慮している	保護者	96.8%	3.2%	67.7%	29.0%	0.0%	3.2%
			教職員	100.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
	13	幼稚園は安全教育(災害対策・交通安全・不審者対策等)に取り組んでいる	保護者	96.8%	3.2%	77.4%	19.4%	3.2%	0.0%
			教職員	100.0%	0.0%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%
	14	幼稚園は食育(給食指導)や遊びを通した体力づくりに取り組んでいる	保護者	93.5%	6.5%	90.3%	3.2%	6.5%	0.0%
			教職員	100.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%

保護者、教職員共に子どもの安全意識の高まりを感じていることがうかがえます。大人の指示やルールを守ることだけでなく、自分の健康に関心を向けたり、危険なことを予測し回避しようとしたりするなど、自ら健康で安全な生活をつくりだす力を育んでいけるよう、声掛けや支援の工夫を継続していききたいと思ひます。

食育や体力づくりについては園内で稲や野菜を育て、調理して食したり、戸外遊びや外部講師による運動遊びの中で体力向上に取り組んだりしてきました。子ども達が、「食べる楽しさ」や「体を動かす心地よさ」を十分に味わえるよう今後も工夫しながら食育、体力向上に努めて参ります。

○家庭・地域・学校などとの連携～学びや育ちをつなぐ連携・接続 評価 【B】

問	質問内容	回答者	肯定的評価 (A・B)	否定的評価 (C・D)	A	B	C	D
					そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない
連携	15 幼稚園はお便りや参観、懇談などで子どもの様子や成長の様子を伝えている	保護者	96.8%	3.2%	90.3%	6.5%	0.0%	3.2%
		教職員	100.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
	16 幼稚園は保護者に誠実に対応し、子育ての相談をしやすい(誠実に対応し相談に丁寧に答えている)	保護者	96.8%	3.2%	80.6%	16.1%	3.2%	0.0%
		教職員	100.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
	17 幼稚園は預かり保育(一時利用も含む)が充実している	保護者	93.5%	6.5%	83.9%	9.7%	6.5%	0.0%
		教職員	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	18 幼稚園は地域との交流や小学校などとの連携に取り組んでいる	保護者	100.0%	0.0%	93.5%	6.5%	0.0%	0.0%
		教職員	100.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%

「地域、小学校などとの連携」においてすべての保護者、教職員から高い評価が得られ、昨年度から取り組んできた「学びの架け橋プロジェクト(小学校との接続・連携)の成果を感じているところだ。

園の情報発信においては懇談やおたより、HP、玄関モニター、キッズフェスタでのパネル掲示などでの発信に取り組んでいます。見えにくいとされる幼児期の遊び込みの中での学びの姿や、非認知能力(やりぬく力や感情をコントロールする力など)の育ちをよりわかりやすく伝えていけるよう、今後も工夫を重ねてまいります。

### 3 次年度の課題

○「安心」から「挑戦」へ繋がる環境構成と教師の援助の深化

子どもが「幼稚園は安心できる場所である」と実感できるよう個々に応じた援助を継続し、一人一人の興味関心を引き出し自ら挑戦してみようとする環境づくりを更に深めていく

○本質的な「思いやり」の育成

異年齢での関わりや共同活動などを通して、友達とのいざこざや葛藤を経験し、相手の対場に立った本質的な「思いやり」を育ていけるような援助を継続する

○健康・安全への意識向上

自分の健康に関心を向けたり、危険なことを予測し回避したりするなど、自ら健康で安全な生活をつくりだす力を育ていけるよう、子ども達が気づき考えていけるきっかけとなる支援を継続していく

○情報発信による共育の推進

幼稚園教育の意図や、遊びを通して育つ非認知能力(やりぬく力や感情をコントロールする力など)の育みをよりわかりやすく発信し、家庭・地域・園の共育の輪を広げる

○学びの架け橋(幼小接続)の取り組みの継続と発展

これまでの取り組みを継承し、幼稚園での学びを小学校生活へスムーズに繋げられるように努める

今後も、より質の高い保育と充実した子育て支援を目指して職員が一丸となって取り組んでいく所存です。今後とも保護者・地域の皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。 \*ホームページでも集計グラフを掲載し公開しております。ご覧ください。